

2021
vol.102

ふれあい

高知高須病院 院内誌

特集

(P2~P3)

安芸診療所 開院40周年

- ☐ 第3回地域医療勉強会を開催しました
- ☐ そらまめ教室
- ☐ いつまでも夢と希望をもって
- ☐ 病院職員が在宅医療を知る
- ☐ 人生いろいろすずなりリレー
- ☐ 「はるか」だより
- ☐ 厚生労働大臣感謝状を頂きました
- ☐ ニューフェイス紹介
- ☐ クラブ活動報告
- ☐ ご結婚・ご出産おめでとう

ニューフェイス紹介

2021年9月1日～2021年10月31日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載

①映画鑑賞、音楽鑑賞
②明るく清潔感があり、働きやすいのだと思います。
③1日でも早く業務内容を覚えるように頑張ります。よろしくお願いします。

病棟 看護師 中野 七千翔(なかの なちか)

①寝ること、アウトドアの遊び
②きれいで清潔感のある印象です。
③喋ることが好きです。よろしくお願いします。

透析室 看護師 井上 亜美(いのうえ あみ)

①ドライブ
②ロビーや待ち合いが広々としていて、きれいな病院と思いました。
③天然な所もあり、皆様にご迷惑をかける事が多々あると思います。

透析室 看護師 津田 あゆみ(つだ あゆみ)

①LIVE、バスケットボール
②外見もキレイであり、中に入ると明るく清潔感のある印象です。
③新しい環境で不安もありますが一日でも早く慣れ、業務内容を一生懸命頑張りたいです。

透析室 看護師 吉井 久夫(よしい ひさお)

①旅行
②患者さんとの距離が近くフレンドリーな印象を受けました。
③少しでも早く仕事を覚え高須病院の一員として働けるよう努力していきます。

外来 クラーク 平岡 はな(ひらおか はな)

①映画鑑賞、猫と遊ぶこと
②院内は綺麗で清潔感があり、落ち着いた雰囲気だと感じました。
③真面目な所を活かし、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

臨床工学部 岡村 唯(おかばやし ゆい)

①将棋・サウナ
②以前に家族が通院してお世話になってから、自分も家族も良いイメージがあります。
③上司や先輩、後輩からも信頼される技師になります。よろしくお願いします。

検査部 榎谷 大地(えのたに だいち)

①音楽鑑賞
②院内は綺麗で清潔感があり、職員の方々が親切で病院全体の雰囲気が良いと感じました。
③笑顔で丁寧に仕事を遂行していきたいと思っています。よろしくお願いします。

リハビリテーション部 伊藤 美香(いとう みか)

①映画鑑賞
②職員皆さんが、優しく丁寧で、とても良い病院だと感じました。
③美味しく、安心、安全な食事を提供できるように、頑張ります。

栄養部 調理師 前野 由美子(まえの ゆみこ)

①ドライブ、映画鑑賞
②フロアが広く、綺麗な印象を受けました。
③ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

医師事務作業補助室 佐竹 花菜(さたけ かな)

①ゴルフ
②スタッフが和気あいあいな職場で好きです。
③約3年のブランクで元の職場に復帰しました。よろしくお願いします。

安芸診療所 准看護師 松本 美奈(まつもと みな)

①清潔感のある建物と 職員の方々の笑顔と親切な対応に安心できました。
③念願の職場で勤務できることに感謝し、一日でも早く戦力になれるよう精進したいと思っています。

安芸診療所 介護福祉士 安岡 千恵子(やすおか ちえこ)

①アロマテラピー
②全体的に静かで落ちついた雰囲気のある病院だなと感じました。
③生涯現役を目指してモチベーションで明るく元気に頑張りたいと思います。

安芸診療所 医療事務 前田 美保(まえだ みほ)

①早朝のウォーキング
②高須病院は綺麗で雰囲気も良くスタッフの方々の対応も、とても親切だと思いました。
③介護の基本を思い出して、新たに皆様から沢山の事を学び実践したいです。

介護付有料老人ホームはるか 幾井 美和(いくい みわ)

[尚賢会 2021年10月の診療実績]

●外来患者数/3,444人 ●紹介患者率/24.0% ●新入院患者数/91人 ●退院患者数/88人 ●平均在院日数/17.2日 ●病床利用率/70.1%



ふれあい vol.102 8

クラブ活動報告 大会成績

野球部

第10回夜さこい野球大会【壮年部 1回戦】
 ■日時/2021年6月10日(日)
 尚賢会スポーツ壮年団 vs 竹村会ベースボールクラブ

	1	2	3	4	5	6	7	計
尚賢会	2	0	0	0	0			2
竹村会	3	6	3	0	×			12

第10回夜さこい野球大会【1部 1回戦】
 ■日時/2021年7月11日(日)
 須崎くろしお病院 vs 高須病院ダイアライザー

	1	2	3	4	5	6	7	計
須崎くろしお	1	0	1	0	0	3		5
高須病院DLZ	0	0	0	0	0	0		0

ご結婚おめでとう

安芸臨床工学部
小谷 英誉(おだに ひでよし)さん
 2021年8月20日入籍

検査部
田村 瑠(たむら りん)さん
 旧姓/足達(あだち)
 2021年8月28日入籍

臨床工学部
曾我部 直久(そがべ なおひさ)さん
 2021年9月1日入籍

ご出産おめでとう

小松 和希(こまつ わき)
 安芸地域医療連携室
 2021年8月13日生まれ
希実(のぞみ)ちゃん

高橋 和也(たかはし かずや)
 臨床工学部
 2021年8月24日生まれ
弥馬士(やまと)くん

公文 翔子(くもん しょうこ)
 透析室
 2021年8月29日生まれ
風斗(なつ)くん



安芸診療所 40周年を迎えて

附属安芸診療所 院長
戦 泰和(せん やすかず)

昭和56年8月に開設された高知高須病院附属安芸診療所が開院40周年を迎えました。

私が院長を拝命して17年になります。開設30周年、そしてこのたびの40周年と、節目の時期に立ち会わせて頂き光栄に感じており、また40周年にあたり、多くのお励まし、寺尾会長からは激励の賞状と記念品を賜り、この場を借りて、あらためて御礼申し上げます。ご助言いただいた診療録の充実、整理整頓も引き続き取り組んでゆく所存です。

さて、10年前の開院30周年時に、「これからの10年は安芸診療所の真価が問われる期間」と述べさせて頂きましたが、この10年の間で、C E、看護師は多くのスタッフの取り組みにより、当院の医療は着実にパワーアップしており、2014年エコーを用いたV A管理開始、2018年6月にはH D F 対応のコンソール(D C S - 1 0 0 N X) を48台導入し、60台全台がH D F 対応となりました。

2018年11月には待望の電子カル

テ導入、2019年8月にはベッド配置の大幅変更を行い、現在の3ブロック体制となり、電子カルテ導入と合わせ回診効率が大幅に向上しました。2020年10月には、安全な離脱を可能にする逆止弁付き穿刺針の全面導入を実施、2021年外壁改修工事も終了し、前回の耐震補強を含め、災害対策も着実に進行しております。20代、30代のフレッシュな看護師・C Eも増加し、ベテランスタッフとともにシャント管理に取り組み、シャントトラブル減少の実績も上がっています。

ただ、10年前の東日本大震災、近年のコロナ禍と、思いもよらぬ事態が節目ごとに発生している印象です。近い将来予測される南海トラフ大地震への備えも含め、不測の事態に対する対応力を尚腎会全体で高めていく必要があると思われま

す。

安芸診療所のスタッフ一同も鋭意努力してゆく所存ですが、これからもお力添えよろしくお願い申し上げます。



※撮影時のみマスクを外しております。

安芸診療所 開院40周年

特集

安芸診療所は1981年8月に『高須クリニック安芸診療所』として開設され、2021年8月でちょうど40周年を迎えることができました。

初代沼田院長をはじめ、赤澤院長、竹中院長、橋本院長、小松院長、増田院長、そして現在の戦院長のもとで、豊かな自然に囲まれた住み慣れた地域での外来通院透析の提供ができています。

最初は数人の患者さんでしたが夜間透析が始まり、室戸クリニックが開設され、安芸診療所60床、室戸クリニック76床になっています。スタッフも地元採用の看護師、臨床工学技士をはじめ、本院、安芸より経験豊富なコメディカルの方々の協力を得て、アットホームな雰囲気

今後も県東部の 腎泌尿器治療の充実を目指す

東部看護統括部長 小松 登美(こまつ とみ)

中でより良い医療の提供に努めています。

また患者さんのよき理解者・援助者となれるよう地域の方々と連携協働し、看護介護の提供をおこなっています。2014年には居宅介護支援事業所と訪問看護ステーションも開設され、高齢患者さんや合併症のある透析患者さんの保健福祉サービス、在宅や施設でのサービスの充実を図っています。送迎バスもコースを増やし対応しています。

目まぐるしく変化したこの40年間ですが、絶えず最新の医療とシステムを提供し続けている病院です。今後も県東部の腎泌尿器治療の充実を目指します。

安芸診療所で透析 野村さんらに風雪努力賞

2021年8月2日、安芸診療所40周年記念と共に、患者さんの長きにわたる透析生活を讃えて、風雪努力賞として30年以上3人、20年以上6人の表彰状および記念品の贈呈セレモニーをおこないました。

対象となった患者さんをご紹介させていただきます。

- 35年／野村朋以さん
- 33年／中上博文さん
- 30年／竹邑成美さん
- 26年／小松正史さん
- 25年／佐竹弘美さん
- 25年／窪井知秋さん
- 23年／谷崎久夫さん
- 21年／松本泰輔さん
- 20年／濱渦利明さん

このうちのおひとり、野村朋以さんにお言葉を頂きました。

安芸診療所透析患者

野村 朋以さん

安芸診療所開院40周年おめでとうございます。風雪努力賞を頂きありがとうございます。

私は昭和60年に透析をはじめました。高知高須病院附属安芸診療所が自宅から4 km位の近場にあったことが幸いし、入院せずに5時間透析をおこないました。日に日に食欲も出て体調も良くなり、旅行にも行けるようになり、良い思い出になりました。

これまでの長い間には、いろんな手術を受けて辛い時もありましたが、先生や多くのスタッフの方々のお世話になり、ここまでこれたと感謝しております。

これからも体に気を付けて頑張りたいと思います。皆さん一緒に頑張りましょう。

【小松部長より】

野村さんとは外来通院中から40年近くのお付き合いになります。造血剤ができるまで貧血には輸血が頼りで大変でした。除水も今のようにボタン一つで設定できなくて手作業でおこなっていました。

そんな頃からシャントは二度もトラブルを起こすことなく使用できています。素晴らしいことだと思います。



右が野村朋以さん

74歳 学び、いつまでも 夢と希望をもって

室戸高校定時制1年の 透析患者・井上貢さん

2021年10月8日、
「第55回高知県高等学校定時制通信制
生徒生活体験発表会」が開催されました。
ここで発表されたのが、
室戸クリニック透析患者の井上貢さんです。
井上さんは74歳で、
今年4月に室戸高校定時制に入学されました。
今回は要約になりますが、
発表会の原稿を紹介致します。



室戸クリニック
透析患者
井上 貢さん

私は現在74歳、今年4月に室戸高校定時制に入学しました。

これまでの人生は17歳で高校を中退してマグロ船に乗り、24歳で船長、27歳から漁労長をし、57歳まで働きました。マグロを追って世界の海をめぐり、世界各国の港に入港しました。

マグロ船を降りた後は、現在までサンゴ漁をしています。3年前に以前からよくなかった腎臓の働きが悪くなり、透析を始めました。仕事も思うようにできなくなる中、17歳の時に高校を中退したことを思い出しました。

・・・・・・・・・・

実は勉強したいという思いは私の中にずっとあり、マグロ船を降りたところから定時制への入学は考えていました。息子が学生のうちは受験をあきらめていましたが、息子も大学を卒業し東京で就職したこともあり、妻と相談し受験することにしました。

今もサンゴ漁は続けていますが、無理をせず、気楽に行っているの、学校へ行くのがつらくなることはありません。今まで出会うこと

のなかった年の離れた同級生や先生方、授業等にこの歳になって出会え、勉強し、考えることの楽しさを知ることができて良かったです。

歳もとっているし、病気もありますが、いつまでたっても夢と希望をもって生きていきたいと思っています。

・・・・・・・・・・

今後の私の夢は、医学を学び「腎臓病の特効薬を作る」ことです。私は今、人工透析を受けています。日常生活や仕事で特にしんどいことはありませんが、体のためには週3回病院へ行き、4時間の透析を受けなければなりません。透析患者は34万人以上といわれており、透析の時間を「楽しむ時間」へと工夫されている方々もいるそうですが、やはり週3回の透析は行動に大きく影響します。私を含め、腎臓病に苦しむ人たちの役に立ちたいという思いから、何とか薬が見つけれないものかと思っています。年齢や透析のこともあります。可能な限り、人生をかけて挑戦していきたい夢です。

第3回 地域医療勉強会を開催しました

～ 初めての「完全オンライン」に27事業所参加 ～

地域医療連携室
医療ソーシャルワーカー
氏次 飛鳥
(うじつぐ あすか)

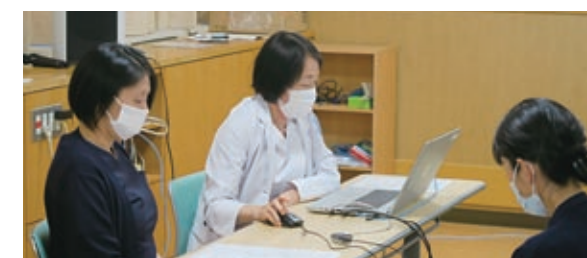
2021年11月8日(月)、「第3回地域医療勉強会」を開催しました。対象者は地域包括支援センター、ケアマネジャー(介護支援専門員)の皆様です。参加事業所は27事業所、参加人数は約80人と多くの方にご参加頂きました。

昨年は、コロナウイルスが猛威を振るい、計画はしていたものの開催見送り。今年も見送るかと思っていた矢先、「オンラインで開催してみては?」という声が上がし、初めての試みとなるオンライン勉強会の開催に向け、準備を始めることになりました。

講師は当院の腎臓内科医の池辺弥夏理事長と、管理栄養士の鈴木千栄子主任です。テーマは「高齢者の腎臓病」、「災害時の食事療法」についてでした。

大きなトラブルなく、無事勉強会を開催することが出来ました。参加者の皆様からは、「興味深い内容だった。勉強になった。」「学ぶ事が多く大変勉強になった」などのコメントを頂くことができました。次回開催への希望として、「泌尿器科の勉強会」を期待する声が複数上がっており、第4回開催に向けて準備をしたいと思います。

たくさんのご参加ありがとうございました。



そらまめ 教室

コロナ禍における 腎臓病患者さんへの取り組み

～ 教室に代わり「そらまめ便り」始める ～

外来 看護師
西森 美穂
(にしもり みほ)

当院には「そらまめ教室」という腎臓病患者さんのための教室があります。前院長の湯浅先生

を中心に多職種メンバーとともに2003年1月に発足しました。腎臓はそらまめのような形をしていることが教室名の由来です。

年に6回、2ヶ月おきにおこなわれて来たそらまめ教室は2018年6月に記念すべき100回目を迎

えました。腎臓病に対しての理解や治療法、食事療法を中心に教室を開催してきましたが、2019年

4月からはコロナの影響で休会が続いています。長引くコロナ禍の中で、そらまめ教室の代わりに

患者さんのために何かできないかとスタッフ間で考え、「そらまめ便り」を始めました。看護師のみならず理学療法士など多職種でお便りを作成し、外来受診に来られた患者さんへお渡ししています。

これからも、患者さんの療養生活がより良いものとなるよう活動を継続していきたいと思います。

～そらまめ便り～

① “運動制限”の時代から“運動推奨”へ

結果、保存期慢性腎臓病患者さんや透析患者さんは運動することでたんぱく尿が減少する。運動は推奨されています。運動不足は筋肉の減少や心臓病のリスクを高めます。適切な運動を行うと長期的には腎臓病の進行を遅くし、心臓や血管の病気を予防したりする効果があります。

保存期の運動習慣について

② 運動の効果(腎臓リハビリテーション)

○日常生活や生活の質の改善→生活するうえで必要な活動や身体的・精神的・社会的な健康に力を注ぎたい患者さんや家族の健康に貢献します。

○腎臓病の改善→腎臓病の進行を遅くし、心臓や血管の病気を予防したりする効果があります。

○フレイルやサルコペニアの改善→フレイルやサルコペニアの予防や改善により、死に率低下が期待できます。

○心臓病の予防→心臓病のリスクを軽減し、予防することで死に率低下が期待できます。

有酸素運動

○頻度の目安：3～5回/週

○強度の目安：有酸素運動の強度は、心拍数が150～170回/分(自覚的でない速さ)

○時間の目安：20～60分/回

○注意：この運動が入れられない場合は数回に分けて合計20～60分/週

運動の後は水分をしっかりと取りましょう！

レジスタンス運動

○頻度の目安：1セット10回を1日3セット、3～4日/週

○強度の目安：自重の1/2～1/3程度の重量で、10～15秒間保持

○注意：この運動が入れられない場合は数回に分けて合計20～60分/週

運動の後は水分をしっかりと取りましょう！

さんの療養生活がより良いものとなるよう活動を継続していきたいと思います。

はるか
だより

実りの秋!ハロウィン大収穫祭!! ～ はるか10月行事レクリエーション ～

介護付有料老人ホーム
はるか介護支援専門員
片岡 佳世
(かたおか かよ)

先月はコロナ感染増を受け、中止になった行事レクリエーション。10月29日、2ヶ月ぶりに開催する事ができました。2日後がハロウィンなので、スタッフも仮装し雰囲気を盛り上げます。

ハロウィン大収穫祭と題して、ミカン狩り、イモ掘りゲームを行いました。ミカン狩りは、籠を背負ったスタッフが入居者さんの間を回り、新聞紙を丸めて作ったミカンや柿をその籠に入れてもらいます。スタッフも動き回るので、なかなか苦戦する入居者さん達。狙いを定めて「ほいっ」。見事入ると歓声があがりました。

イモ掘りゲームでは箱の中から、これまた新聞紙で作ったイモを探してもらいました。ほかにもおもちゃが入っていたり。当りは本物のイモ!大きいのも小さいのも、いろんなイモが出てきて笑顔の入居者さん。当りのイモを引いた方は「生やねえ。食べれん...」と残念そう。

ゲームの後はお待ちかねの喫茶タイム。モンブランケーキやハロウィンケーキを召し上がって頂きました。久しぶりのケーキに、「美味しい」と笑顔の入居者さんや、「ちょっと大き過ぎた」と半分でお腹いっぱいになってしまった方も。

1時間の短い時間でしたが、皆さんに楽しんで頂けました。これからも毎月開催できるよう、コロナ収束を願うばかりです。



厚生労働大臣感謝状を頂きました

～ 献血を通して社会貢献活動に取り組む ～

2021年9月15日、高知県庁にて令和3年度献血運動推進協力団体等表彰状及び感謝状贈呈式が執り行われ、高知高須病院が厚生労働大臣感謝状を頂きました。

献血運動推進協力団体等表彰は、献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した事業所などが表彰されます。

当院ではおよそ38年前(昭和58年頃)から、職員による献血に協力させて頂いており今回の感謝状となりました。

血液がどなたかの命の助けになれば幸いです。今後も継続的に社会貢献活動に取り組んでいきます。



前列左から2番目 管理部 北岡副部長



素敵な花器も
頂きました

研修会

「病院職員が在宅医療を知る」

地域医療連携室 室長
三好 可奈(みよし かな)

みなみ在宅クリニック「南 大樹先生」を招いて ～ 家に帰りたい気持ちを大切に ～

開催
目的

- ①病院医療と在宅医療の違いを知る
- ②在宅医療の対象者や、在宅で「できること」「できないこと」を理解し、退院支援の選択肢の一つとする



新型コロナ対策で通院控えやコロナ禍での面会禁止などの状況から、入院治療から在宅医療に切り替える患者さんが増え、また終末期にある患者さんから「孫の顔を見に帰りたい」、ご家族から「家に連れて帰ってあげたいが心配」との声も聞かれます。

今回、これからの医療に重要な役割を担う在宅医療に注目し、高知県在宅医療推進事業を活用して学ぶ機会を設けました。

南先生は沖縄県で急性期医療、倉敷市で在宅医療を経験された後、2018年、高知市に開院、現在は230人を超える患者さんに診療を行っておられます。

研修会当日は、対面・ZOOMによるWEB開催とし、医師、多職種50人の参加がありました。講演では訪問診療と往診の違い、訪問診療の対象となる疾患(認

知症、脳卒中後、悪性腫瘍、慢性心不全など)、看取りについて、亡くなられた後のグリーフケア(悲嘆に暮れる人がその悲しみから立ち直れるよう支援)の取り組みなど、基本的な事から事例紹介も含め詳しくご教授頂きました。

受講後のアンケートには「その人らしく人生を終えるお手伝いをする医療、とても興味深かった」「訪問診療があると安心して在宅療養を継続することが出来ていると実感した」等の感想が寄せられました。今後は退院支援の一つとして、多職種の医療スタッフで取り組んでいきたいと思います。



第54回

人生いろいろすずなりリレー

久保 奈央さんから→
透析室1 看護師 眞辺 宏生(まなべ こうせい)さん

我が家の新入り紹介!



きいちゃん

～ NOハリネズミ

NO LIFE

今回皆さんにご紹介したいのは我が家のハリネズミです。

ハリネズミと聞くとどういう印象を思い浮かびますか? 「ハリが痛そう。」「家で飼えるのかな?」など様々な印象があると思います。

私もそんな一人でしたが、コロナ禍に見舞われ、自宅で過ごす事が多くなってきた時に小動物でも飼おうと考え、実際に飼っている友人に見せてもらい、一目惚れし、飼うことを決意しました。

ハリネズミの特徴ですが、とても恐がりです。知らない匂いや物が近づくだけで「ふしゅっ」と警戒しながら丸まります。その時は最初に想像した通りハリが刺さり、血が出る事も…。しかし根気よく馴らし続けることで、触っても警戒されずに自分の手からごはんを食べてくれるなど可愛いハリネズミと過ごせるようになりました。

まだまだ紹介したい魅力はありますが書ききれませんでした…。これから小動物を家族に迎えようと計画されている方は、ぜひ!ハリネズミをショップで観察してみて下さい。そしてハリネズミの魅力にハマってみませんか?



あいちゃん